

◆活動団体

団体名：てくてく中郡古道プロジェクト

連絡先：TEL (082) 844-0826

メール：nkurokawa@mbk.nifty.com

URL：

令和4年度は、コロナ禍ではありましたが、古道沿線の郷土史会が、色々な団体と連携を取りながら地域を盛り上げる活動をしました。

## 狩留家郷土史研究会

### 1 狩留家なすを中心とした収穫祭や農家レストランを開催

業者や大学生による、狩留家なすの新メニューの試食会を兼ねた農家レストランを開催しました。

町内外から90人余りの来場があり、中郡道(町中)を歩いてもらったり、なすの収穫、新メニューの試食やなすに関するアンケートにも答えて頂きました。

農家レストランで試食会



小学生に中郡道を案内



◆R4年度  
活動内容

参加者からは、なすの収穫が楽しかった、料理が想像以上に美味しかった。田舎の街の雰囲気が良く、癒やされる街だった。また来たい。等の感想が多くありました。

### 2 地元の小学生と楽しく勉強

地元の狩小川小学校生徒による授業で「狩留家探検」があり、中郡道と一緒に歩いたり、狩留家なす圃場や物流センター等を見学しました。

物流センター見学



大勢の人が JR 狩留家駅を利用



## 三田・井原郷土史会協賛（主催：広島市・白木公民館）

### 地層と大地の歴史（講演会）

1月28日白木公民館で、三篠川沿いの護岸で見つかった、約3万年前の火山灰の地層に関する講演会が開催されました。講演会には地元の人々や三次沿線の郷土史会の人約100人が参加しました。参加者は、広島大学大学院の元准教授早坂康隆研究員たちの説明を熱心に聞きました。

地層は今から約3万年前、今の鹿児島県桜島付近で起きた大規模爆発の灰が降り積もったものと説明を受け、「桜島の灰が白木まで」「すごいロマンを感じるなー」など。大変盛りあがりました。地質に関する興味を持つ人は多く、地元郷土史会としてもこの話題に注目をしていきたいと思えます。

R4年度

